

2018年3月期第3四半期決算の概要

東レ株式会社
2018年2月9日

目次

I . 2018年3月期第3四半期決算の概要

2018年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-15)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P16)
主要子会社・地域の収益状況(第3四半期累計期間)	(P17)

II . 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し	(P19)
セグメント別業績見通し	(P20)

I . 2018年3月期第3四半期決算の概要

2018年3月期第3四半期連結損益概要

	17年3月期 第3四半期 (10~12月)		18年3月期 第3四半期 (10~12月)		増減		17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		増減		億円
売上高	5,352	6,006	+655	(+12.2%)	14,922	16,488	+1,567	(+10.5%)				
売上原価	4,276	4,800	+524	(+12.3%)	11,713	13,051	+1,337	(+11.4%)				
売上総利益	1,076	1,206	+131	(+12.1%)	3,208	3,438	+230	(+7.2%)				
(売上高総利益率)	20.1%	20.1%	-0.0	ポイント	21.5%	20.9%	-0.7	ポイント				
販売費及び 一般管理費	697	754	+57	(+8.2%)	2,066	2,204	+138	(+6.7%)				
(売上高販管費比率)	13.0%	12.5%	-0.5	ポイント	13.8%	13.4%	-0.5	ポイント				
営業利益	379	453	+74	(+19.4%)	1,142	1,234	+92	(+8.0%)				
(売上高営業利益率)	7.1%	7.5%	+0.5	ポイント	7.7%	7.5%	-0.2	ポイント				
営業外収支	15	▲5	-20		13	▲18	-31					
経常利益	394	448	+54	(+13.7%)	1,155	1,216	+61	(+5.3%)				
特別損益	▲26	▲57	-30		▲39	▲96	-57					
税前利益	368	391	+24	(+6.5%)	1,116	1,119	+4	(+0.3%)				
親会社株主に帰属する 四半期純利益	235	301	+66	(+28.3%)	769	776	+8	(+1.0%)				

		(17/3 3Q) → (18/3 3Q)		(17/3 3Q累計) → (18/3 3Q累計)	
為替レート <円/US\$>	期中平均	: 109.3	→ 113.0	106.6	→ 111.7
	期末	: 116.5	→ 113.0		
<円/ユーロ>	期中平均	: 117.8	→ 133.0	118.0	→ 128.5
	期末	: 122.7	→ 134.9		

営業外収支

億円

	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	18年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	62	49	-13	157	159	+1
受取利息及び配当金	15	20	+5	41	47	+6
持分法による投資利益	25	18	-7	68	72	+5
雑収入	22	11	-11	49	39	-9
営業外費用	▲ 47	▲ 54	-7	▲ 144	▲ 176	-32
支払利息	▲ 13	▲ 12	+0	▲ 36	▲ 38	-2
新規設備操業開始費用	▲ 9	▲ 17	-8	▲ 20	▲ 47	-27
休止設備関連費用	▲ 10	▲ 9	+1	▲ 31	▲ 36	-5
雑損失	▲ 15	▲ 16	-1	▲ 57	▲ 55	+2
営業外収支	15	▲ 5	-20	13	▲ 18	-31
金融収支	3	8	+5	5	9	+3

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	18年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	3	27	+24	15	34	+19
有形固定資産売却益	1	5	+4	10	7	-3
投資有価証券売却益	2	22	+20	5	27	+22
その他	-	-	-	0	-	-0
特別損失	▲ 29	▲ 84	-54	▲ 54	▲ 130	-76
有形固定資産処分損	▲ 21	▲ 19	+2	▲ 41	▲ 39	+2
減損損失	▲ 3	▲ 28	-25	▲ 4	▲ 34	-31
関係会社事業損失	-	▲ 37	-37	-	▲ 37	-37
環境対策費	-	-	-	-	▲ 17	-17
その他	▲ 6	▲ 0	+5	▲ 9	▲ 3	+6
ネット特別損益	▲ 26	▲ 57	-30	▲ 39	▲ 96	-57

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	17年3月末	17年12月末	増減
資産合計	23,968	26,584	+2,616
流動資産	10,667	11,799	+1,132
有形固定資産	8,814	9,437	+622
無形固定資産	773	728	-45
投資その他	3,713	4,621	+908

	17年3月末	17年12月末	増減
負債合計	12,966	14,510	+1,544
流動負債	6,700	7,127	+427
固定負債	6,266	7,383	+1,117
純資産合計	11,002	12,074	+1,072

自己資本	10,213	11,236	+1,023
自己資本比率	42.6%	42.3%	-0.3 ポイント

有利子負債残高	7,164	8,475	+1,311
---------	-------	-------	--------

D/Eレシオ	0.70	0.75	+0.05
--------	------	------	-------

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額*	986	1,076	+90
東レ	193	260	+66
連結子会社	793	817	+24
減価償却費*	665	714	+49
東レ	211	236	+24
連結子会社	454	479	+25
研究開発費	427	467	+40
東レ	306	351	+45
連結子会社	121	116	-5

* 有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

主な設備投資:

Toray Advanced Materials Korea Inc.	: 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備
Toray Battery Separator Film Korea Limited	: ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備
Zoltek Companies, Inc.	: ラージトウ“ZOLTEK™”炭素繊維設備
Toray Composite Materials America, Inc.	: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

セグメント別売上高・営業利益

億円

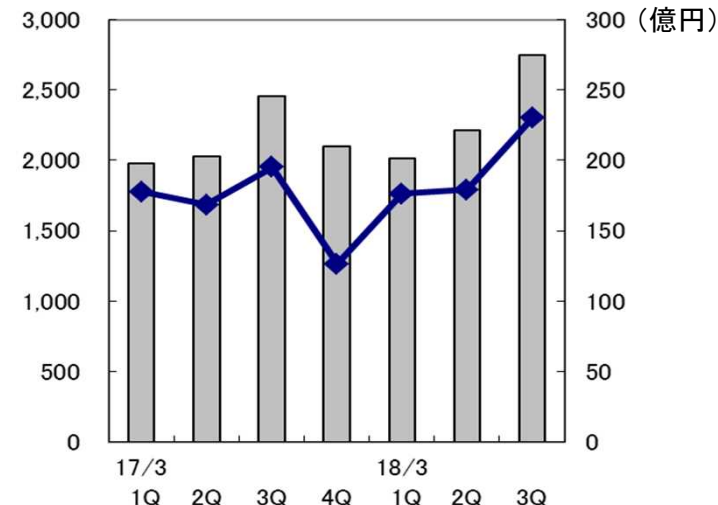
	売上高			営業利益		
	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	18年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	17年3月期 第3四半期 (10~12月)	18年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	2,458	2,748	+290 (+11.8%)	195	230	+35 (+18.0%)
機能化成品	1,815	2,090	+275 (+15.2%)	168	200	+32 (+19.2%)
炭素繊維複合材料	378	434	+56 (+14.7%)	46	46	+0 (+1.1%)
環境・エンジニアリング	531	557	+26 (+4.9%)	22	25	+3 (+13.0%)
ライセンス	129	136	+7 (+5.1%)	▲ 3	6	+8 (-)
その他	40	42	+2 (+3.9%)	7	8	+2 (+25.2%)
計	5,352	6,006	+655 (+12.2%)	435	516	+81 (+18.5%)
調整額				▲ 56	▲ 63	-7
連結	5,352	6,006	+655 (+12.2%)	379	453	+74 (+19.4%)

	売上高			営業利益		
	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	6,460	6,976	+516 (+8.0%)	541	586	+44 (+8.2%)
機能化成品	5,277	5,997	+720 (+13.6%)	464	557	+93 (+20.0%)
炭素繊維複合材料	1,184	1,282	+98 (+8.3%)	206	151	-55 (-26.9%)
環境・エンジニアリング	1,495	1,709	+214 (+14.3%)	75	94	+19 (+24.8%)
ライセンス	381	398	+17 (+4.3%)	5	19	+15 (+304.4%)
その他	124	127	+2 (+1.9%)	12	17	+5 (+45.0%)
計	14,922	16,488	+1,567 (+10.5%)	1,303	1,424	+121 (+9.3%)
調整額				▲ 161	▲ 190	-29
連結	14,922	16,488	+1,567 (+10.5%)	1,142	1,234	+92 (+8.0%)

セグメント別業績(繊維)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	461	500	+39	(+8.5%)	1,359	1,458	+99	(+7.3%)
	国内	1,413	1,525	+112	(+7.9%)	3,375	3,478	+103	(+3.0%)
	海外	1,318	1,569	+251	(+19.1%)	3,784	4,363	+579	(+15.3%)
	修正	▲ 734	▲ 847	-113		▲ 2,058	▲ 2,323	-265	
	計	2,458	2,748	+290	(+11.8%)	6,460	6,976	+516	(+8.0%)
営業利益	東レ	47	45	-2	(-3.6%)	153	155	+2	(+1.3%)
	国内	42	46	+4	(+9.9%)	93	100	+7	(+7.2%)
	海外	102	121	+19	(+18.1%)	310	350	+40	(+13.0%)
	修正	3	18	+14		▲ 15	▲ 19	-5	
	計	195	230	+35	(+18.0%)	541	586	+44	(+8.2%)

売上高
＜棒グラフ＞



3Q (10~12月)

国内では、自動車関連など産業用途の一部で需要が堅調に推移。衣料用途は厳冬の影響もあり、秋冬物縫製品需要が堅調に推移。引き続き衣料用・産業用それぞれの用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力。海外では、東南アジアや韓国等の一部子会社が低調に推移したものの、自動車関連用途向けや衛生材料向けを中心に、全体としては堅調に推移。

3Q累計 (4~12月)

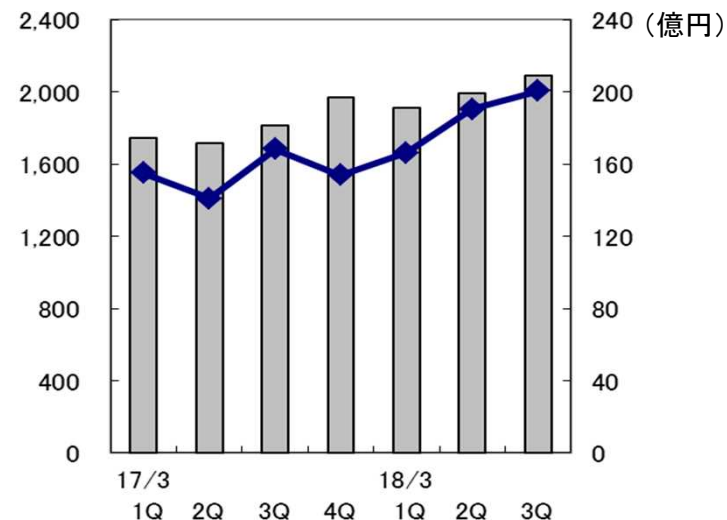
国内では、自動車関連など産業用途の一部で需要が堅調に推移し、衣料用途でも店頭販売の動きなどに徐々に改善が見られる中で、衣料用・産業用それぞれの用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力。海外では、東南アジアや韓国などの一部子会社の業績が低調だったが、自動車関連用途向けや衛生材料向けが総じて堅調に推移し、衣料用途でも一貫型ビジネスの拡大を推進。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	535	640	+105	(+19.6%)	1,559	1,838	+278	(+17.8%)
	国内	1,114	1,195	+81	(+7.3%)	3,252	3,405	+154	(+4.7%)
	海外	1,103	1,348	+245	(+22.2%)	3,153	3,940	+787	(+24.9%)
	修正	▲ 938	▲ 1,093	-156		▲ 2,687	▲ 3,186	-499	
	計	1,815	2,090	+275	(+15.2%)	5,277	5,997	+720	(+13.6%)
営業利益	東レ	52	65	+13	(+25.2%)	125	179	+53	(+42.7%)
	国内	45	40	-5	(-10.5%)	122	107	-14	(-11.8%)
	海外	81	104	+23	(+28.4%)	242	295	+54	(+22.2%)
	修正	▲ 10	▲ 9	+1		▲ 24	▲ 24	+0	
	計	168	200	+32	(+19.2%)	464	557	+93	(+20.0%)

売上高
＜棒グラフ＞



3Q
(10~12月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。

フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大。スマートフォン向けなどの電子部品用途も好調に推移。

電子情報材料事業は、有機EL関連材料や高機能回路材料の出荷が拡大。

3Q累計
(4~12月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。

フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大したことに加え、スマートフォン向けなどの電子部品用途が好調に推移。

電子情報材料事業は、有機ELパネルの需要拡大に伴い関連材料の出荷が拡大。

機能化成品事業のサブセグメント別売上高

億円

	17年3月期第3四半期 (10~12月)		18年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	780	28%	913	29%	+17%
フィルム	726	26%	850	27%	+17%
電子情報材料	151	6%	175	5%	+16%
商事	1,095	40%	1,246	39%	+14%
修正	▲ 938	-	▲ 1,093	-	-
合計	1,815		2,090		

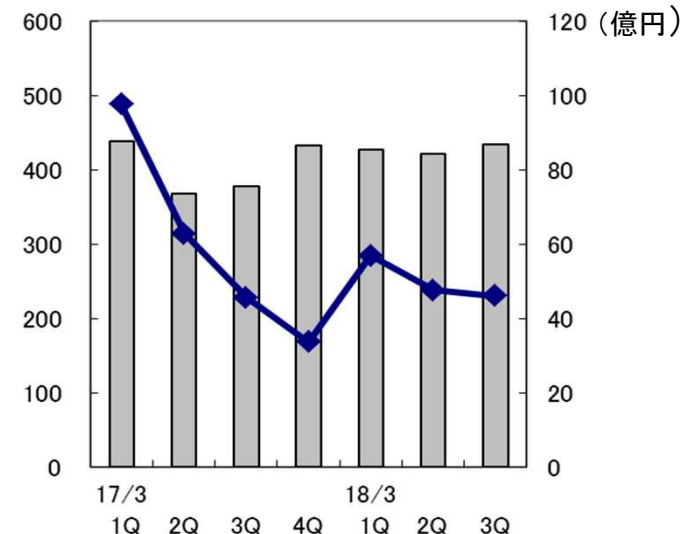
	17年3月期第3四半期累計 (4~12月)		18年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	2,220	28%	2,654	29%	+20%
フィルム	2,155	27%	2,452	27%	+14%
電子情報材料	443	6%	488	5%	+10%
商事	3,145	39%	3,589	39%	+14%
修正	▲ 2,687	-	▲ 3,186	-	-
合計	5,277		5,997		

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	215	240	+25	(+11.6%)	741	704	-37	(-5.0%)
	国内	138	173	+35	(+25.6%)	487	510	+23	(+4.6%)
	海外	332	370	+38	(+11.3%)	1,021	1,032	+11	(+1.0%)
	修正	▲ 307	▲ 349	-42		▲ 1,066	▲ 963	+102	
	計	378	434	+56	(+14.7%)	1,184	1,282	+98	(+8.3%)
営業利益	東レ	21	24	+3	(+13.7%)	96	72	-24	(-25.0%)
	国内	3	4	+1	(+42.3%)	9	12	+3	(+27.4%)
	海外	33	30	-3	(-8.7%)	125	86	-39	(-31.1%)
	修正	▲ 11	▲ 11	-1		▲ 24	▲ 19	+5	
	計	46	46	+0	(+1.1%)	206	151	-55	(-26.9%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞

3Q (10~12月)

航空宇宙用途では、大型機のビルドレート減少はあったものの、中・小型機を中心に最終需要が堅調に推移する中、サプライチェーンでの在庫調整が完了し、出荷は回復基調。一般産業用途は、米国圧縮天然ガスタンク用途を中心とするレギュラートウの環境・エネルギー関連向け需要が回復傾向。パソコン筐体や燃料電池車用電極基材向け等のコンジット製品は、引き続き堅調に推移。なお、原料価格の上昇や競合激化の影響を受けた。

3Q累計 (4~12月)

航空宇宙用途では、航空機の最終需要が堅調に推移している中、サプライチェーンでの在庫調整が完了し、出荷は回復基調。一般産業用途では、圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向。なお、原料価格の上昇や競合激化の影響を受けた。

炭素繊維複合材料事業のサブセグメント別売上高

億円

	17年3月期第3四半期 (10~12月)		18年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	173	46%	203	47%	+17%
スポーツ	35	9%	43	10%	+22%
一般産業	171	45%	188	43%	+10%
合計	378		434		+15%

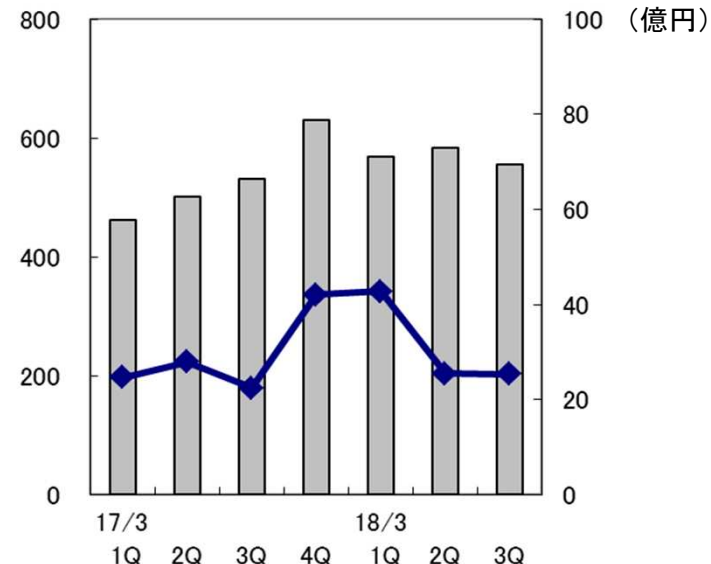
	17年3月期第3四半期累計 (4~12月)		18年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	546	46%	603	47%	+10%
スポーツ	102	9%	117	9%	+15%
一般産業	536	45%	562	44%	+5%
合計	1,184		1,282		+8%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	45	58	+13	(+28.5%)	147	163	+16	(+11.1%)
	国内	684	677	-8	(-1.1%)	1,838	2,040	+201	(+11.0%)
	海外	68	84	+16	(+22.9%)	197	237	+40	(+20.3%)
	修正	▲ 267	▲ 262	+5		▲ 687	▲ 731	-44	
	計	531	557	+26	(+4.9%)	1,495	1,709	+214	(+14.3%)
営業利益	東レ	▲ 1	0	+1	(-)	▲ 1	3	+4	(-)
	国内	16	18	+2	(+11.0%)	57	67	+10	(+17.4%)
	海外	5	7	+3	(+53.3%)	21	23	+3	(+12.7%)
	修正	2	▲ 0	-3		▲ 2	1	+2	
	計	22	25	+3	(+13.0%)	75	94	+19	(+24.8%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞

3Q
(10~12月)

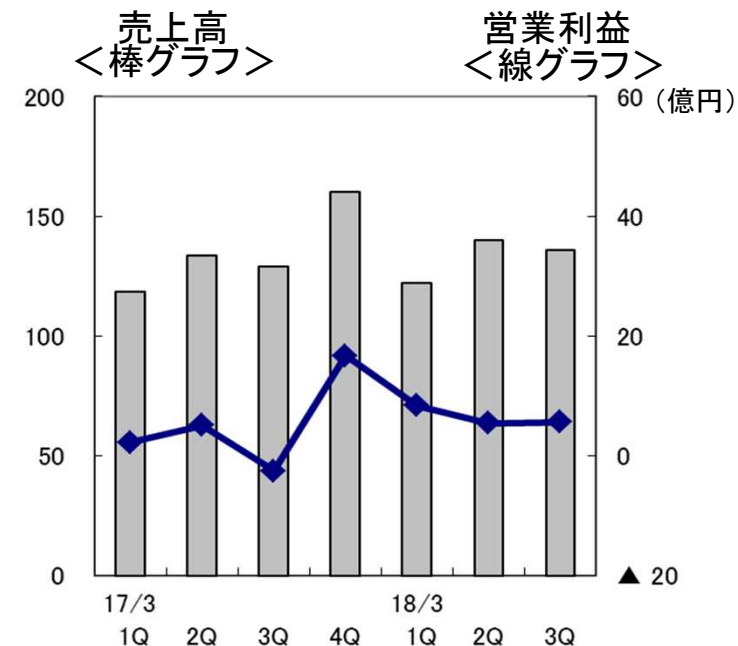
水処理事業は、国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。
国内子会社では、建設子会社が堅調に推移。

3Q累計
(4~12月)

水処理事業は、国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。
国内子会社では、エンジニアリング子会社で産業機器やエレクトロニクス関連装置が好調に推移。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	65	74	+9	(+13.4%)	215	204	-11	(-5.0%)
	国内	102	103	+1	(+0.9%)	302	302	-0	(-0.0%)
	海外	30	29	-2	(-5.6%)	91	88	-3	(-3.4%)
	修正	▲ 69	▲ 70	-1		▲ 227	▲ 196	+30	
	計	129	136	+7	(+5.1%)	381	398	+17	(+4.3%)
営業利益	東レ	▲ 4	2	+6	(-)	2	▲ 2	-3	(-)
	国内	2	3	+1	(+66.1%)	▲ 1	8	+9	(-)
	海外	▲ 1	▲ 2	-2	(-)	▲ 0	▲ 2	-2	(-)
	修正	0	3	+2		4	15	+11	
	計	▲ 3	6	+8	(-)	5	19	+15	(+304.4%)



**3Q
(10~12月)**

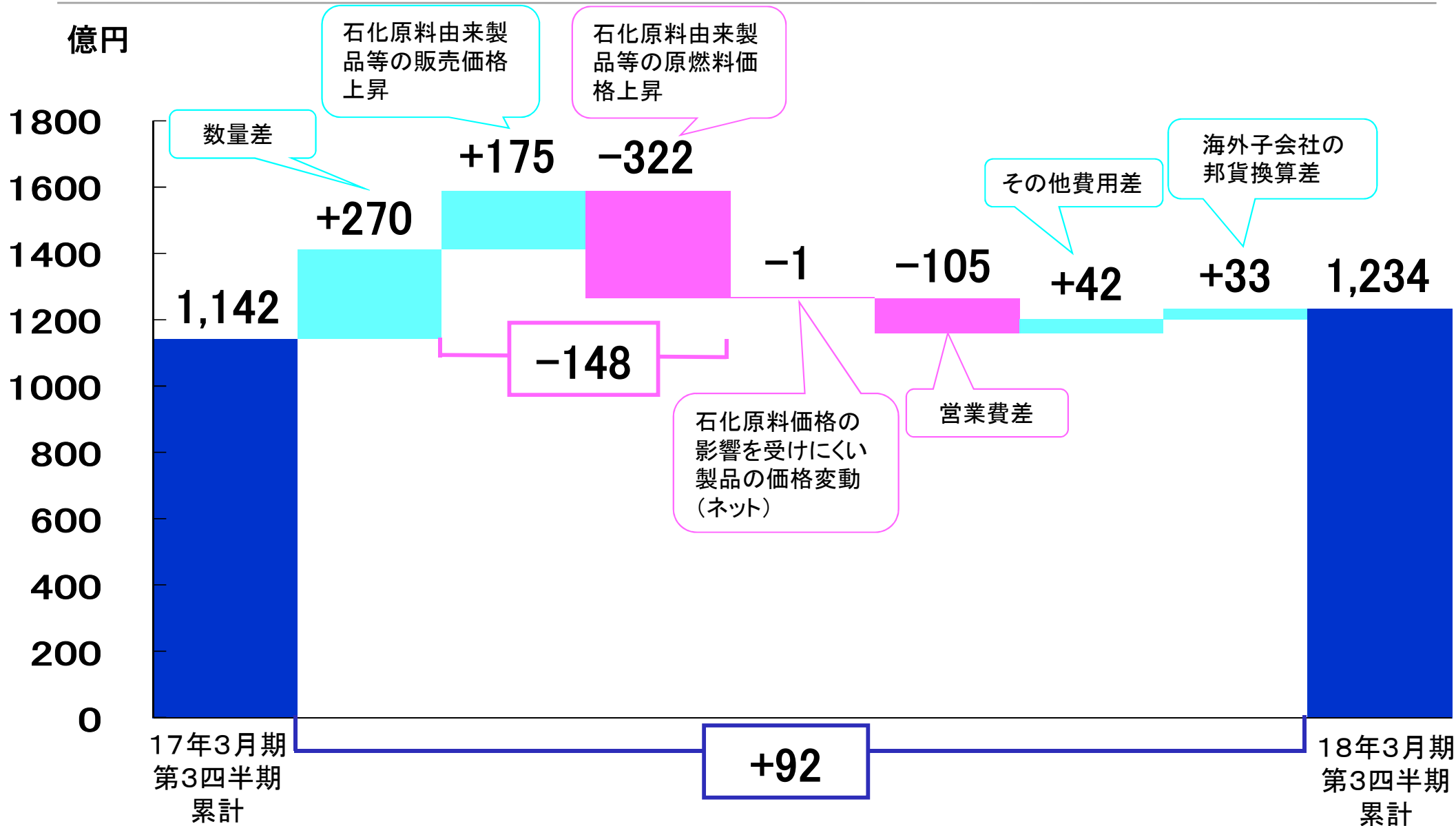
医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が新剤型販売開始や効能追加の効果から出荷を拡大。一方、天然型インターフェロンベータ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。
医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が堅調に推移。

**3Q累計
(4~12月)**

医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が新剤型販売開始や効能追加の効果から出荷を拡大。一方、天然型インターフェロンベータ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調に推移。
医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社・地域の収益状況(第3四半期累計期間)

		売上高			営業利益			億円
		17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	17年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	18年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル		4,329	4,537	+208	84	101	+17	
東レエンジニアリング		749	790	+41	42	51	+9	
東レ建設		301	368	+67	6	7	+2	
東レフィルム加工		313	324	+11	16	25	+9	
在東南アジア・子会社	繊維	857	1,020	+163	57	72	+15	
	機能化成品	600	816	+216	58	87	+29	
	その他	—	1	+1	—	0	+0	
	計	1,457	1,837	+381	115	158	+43	
在中国・子会社	繊維	1,879	2,157	+278	172	198	+26	
	機能化成品	636	764	+129	39	22	-17	
	その他	187	232	+45	5	7	+2	
	計	2,701	3,153	+452	216	226	+11	
在韩国・子会社	繊維	664	736	+72	34	25	-9	
	機能化成品	752	1,033	+281	90	139	+50	
	その他	119	135	+16	19	15	-4	
	計	1,535	1,904	+369	143	180	+36	

Ⅱ. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し

		17年3月期 実績	18年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	9,570	10,482	+912	(+9.5%)
	下期	10,695	11,718	+1,023	(+9.6%)
	通期	20,265	22,200	+1,935	(+9.6%)
営業利益	上期	763	781	+18	(+2.3%)
	下期	706	869	+163	(+23.1%)
	通期	1,469	1,650	+181	(+12.3%)
経常利益	上期	761	768	+7	(+0.9%)
	下期	677	852	+176	(+26.0%)
	通期	1,437	1,620	+183	(+12.7%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	534	475	-59	(-11.0%)
	下期	460	525	+65	(+14.0%)
	通期	994	1,000	+6	(+0.6%)
1株当たり 当期純利益	上期	33.40円	29.71円		
	下期	28.77円	32.81円		
	通期	62.17円	62.52円		
1株当たり 配当金	上期	7.00円	7.00円		
	下期	7.00円	7.00円		
	通期	14.00円	14.00円		

億円

為替レート的前提: 110円/US\$ (1月以降)

セグメント別業績見通し(売上高／営業利益)

億円

		17年3月期 実績			18年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異*
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上高	繊維	4,002	4,560	8,561	4,228	4,872	9,100	+226	+313	+539	-150
	機能化成品	3,462	3,784	7,246	3,907	4,193	8,100	+445	+409	+854	+100
	炭素繊維複合材料	806	811	1,616	848	952	1,800	+43	+141	+184	—
	環境・エンジニアリング	964	1,161	2,125	1,152	1,248	2,400	+188	+87	+275	+50
	ライフサイエンス	252	289	542	262	338	600	+10	+49	+59	—
	その他	84	90	174	85	115	200	+1	+25	+26	—
	連結	9,570	10,695	20,265	10,482	11,718	22,200	+912	+1,023	+1,935	—
営業利益	繊維	346	322	668	355	395	750	+9	+73	+82	—
	機能化成品	296	322	618	357	393	750	+61	+71	+132	+10
	炭素繊維複合材料	160	79	240	105	115	220	-56	+36	-20	-20
	環境・エンジニアリング	53	65	117	68	82	150	+16	+17	+33	+10
	ライフサイエンス	7	14	21	14	16	30	+7	+2	+9	—
	その他	5	21	26	9	16	25	+4	-5	-1	—
	調整額	▲ 105	▲ 117	▲ 221	▲ 127	▲ 148	▲ 275	-22	-31	-54	—
	連結	763	706	1,469	781	869	1,650	+18	+163	+181	—

*前回見通しとの差異:2017年11月10日公表値との差異

本資料中の2018年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。